令和3年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	14	事業No.	131		
事務事業名	健康診査事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	保健課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす
	分野別計画			飯田市健康増進計画「健康いいだ21」
				飯田市版総合戦略
	法令・例規等			健康増進法
				がん対策基本法
				高齢者の医療の確保に関する法律

事業目的		
	対象	職場等で検診（健診）受診の機会のない市民
	意図	疾病を早期に発見し治療につなげる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	
	がんは死因の第１位であり、市民の健康にとって重要な課題です。また、高額医療の原因疾患はがんがもっとも多く、がんを早期に発見し治療することは医療費の削減にもつながります。がんの予防と検診について普及啓発を行い、検診受診率と精密検査受診率向上への取り組みが必要です。 健康寿命と平均寿命の差が問題となっています。介護の利用のない後期高齢者が、健康状態を把握できるように後期高齢者健診を活用していただくよう取り組みが必要です。

3年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
(1)がんを早期に発見し治療につなげるために、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じて、がん検診を実施します。（胃、大腸、乳、肺、子宮、胃リスク検査） (2)がん検診受診率向上のための普及啓発、個別の受診勧奨を行います。また、受診しやすい環境づくりや日程設定、妊婦健診での子宮がん検診結果の把握を行います。 (3)電話や文書等で、がん検診精密検査対象者へ受診勧奨及び状況把握を行います。 ◇(4)国保から後期高齢者医療制度に移行した被保険者に対し、その結果から健診の受診を働きかけ、継続した保健指導を行い、生活習慣病重症化予防に取り組みます。また、介護保険未利用の75歳に後期高齢者健診の受診勧奨を実施します。	会計年度任用職員人件費	2,429
	報償費	17
	研修会等出張旅費	29
	検診票作成等消耗品	361
	印刷製本費	2,076
	通信運搬費	8,346
	健診委託料	84,064
	事務委託料	971
	会場使用料	5
	その他の経費	**30**

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	令和3年度 計画	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和6年度 計画	令和6年度 実績
がん検診受診者数	人	27,500							
後期高齢者健康診査受診者数	人	900							

3年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	98,328
国庫支出金	722
県支出金	52
地方債	0
その他	6,237
一般財源	91,317

特定財源内訳及び補足事項

（国）がん検診推進事業補助金（１／２）　722千円
（県）健康増進事業補助金（国１／３、県１／３）　52千円
（そ）後期高齢者健康診査事業費受託金　5,457千円
（そ）がん検診実費負担金　780千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	3	1	3	2,429 0	会計年度任用職員人件費
2	1	4	1	3	11	5	74,939 0	がん検診事業費
3	1	4	1	3	11	9	6,835 0	高齢者等健康診査事業費
4	1	4	1	3	12	1	14,125 0	結核予防事業費
5								
6								
7								